

アイコクアルファの太陽光発電 —CNへの大きな一歩！再生可能エネルギーの活用—

増設により太陽光発電設備がさらに充実してきました。

本社ビルへの設置から始まったアイコクアルファの太陽光発電は今充実の時を迎えています。初期費用を抑えるPPAモデルを導入し、多くの工場屋根で太陽光発電設備の増設が進みました。増設前には0.5%ほどだった全社電力使用量に対する太陽光発電での賄い率は約4.6%まで上昇見込。どんどん増えてます。

なんとということでしょう。殺風景な屋根がこんなに立派に！

太陽光発電設備の増設を計画段階から支えているEMSGをはじめ様々な方の想いが工場の屋根を覆います。新たな屋根上の風景をご覧ください。

<第10工場>



<山崎第1工場>



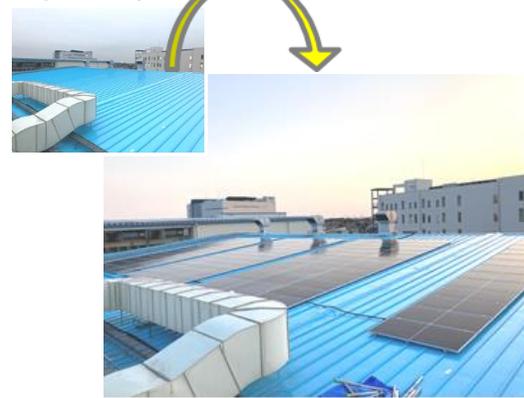
<山崎第2工場>



<第9工場>



<第3工場>



<第11工場>



各工場の太陽光発電の容量と年間発電量(既存設備実績+新設備基準発電量)の見込

設置工場	～'21年設置	'22-23年設置	年間発電量(見込)
第10工場	50kW	635kW	817千kWh
山崎第1工場	—	455kW	504千kWh
山崎第2工場	50kW	155kW	258千kWh
第9工場	50kW	255kW	415千kWh
第3・第11工場	50kW	205kW	332千kWh
本社ビル	30kW	—	31千kWh
柏営業所	—	9kW	12千kWh
大阪営業所	—	9.75kW	14千kWh(9月設置予定)

合計発電量 2,383千kWh/年

['22年度全社電力使用量 50,876千kWh に対する賄い率 4.7%]

祖父江の地より遠く離れた東京、大阪でも太陽光発電の設置が始まっています。柏営業所では2月から発電を開始しました。大阪営業所でも9月設置予定で準備を進めています。

柏営業所の太陽光パネル ➡



まだまだ増やしたい、太陽光発電設備。

現在アイコクアルファでは本社ビルや営業所予定分を含め8カ所へ太陽光発電設備を設置しています。しかし、他の建物の陰になってしまったり、建物の強度不足で太陽光パネルが載せられないなどの問題もあり、すべての工場屋根への設置には至っていません。これからも太陽光発電をカーボンニュートラル実現の切り札のひとつとして、設置を進めていきたいと考えています。

また、アイコクアルファは全社でCO2排出量を実質ゼロとする“グリーンファクトリー(オフィス)”を目指しています。'23年度3月現在、3オフィス(本社ビル、いこいの広場、青雲荘)、1ファクトリー(一宮工場)がグリーン電気で稼働しています。'23年度中に新たに2オフィス(柏営業所、大阪営業所)が加わる予定で、グリーンファクトリーに一步近づきます。